

2009年3月期 期末決算報告

2009年5月28日
代表取締役社長 熊澤修一

株式会社 **クレスコ**

証券コード: **4674**
<http://www.cresco.co.jp>



1.2008年度の振り返り

2.2008年度決算概要

3.2009年度の基本方針等



1. 2008年度 の振り返り



2008年度の重点事項

1. **市場開拓と案件獲得に向けた体制作り**
 - **役割の明確化**
 - **顧客密着型の提案営業**
 - **グループ会社の営業支援、連携の強化**
2. **新規事業の立上げ**
 - **サービスソリューションメニューの創造**
 - **コンサルティング事業の基礎固め**
3. **内部統制制度の確立と業務の見える化推進**
4. **ナレッジマネジメント活動の全社的推進**



環境激変の1年

第1四半期 原油高騰 景気の転換期

第2四半期 米国リーマンショックが深刻化

第3四半期 為替・株式等の金融市場崩壊

第4四半期 内需減退、企業業績が急落



業績へのインパクト

設備／IT投資の急激な減少

周回性のないIT不況が直撃

案件数の減少、PJの中断や延期多発

単価低減、工数削減要請の激増



3 大成果

エンドユーザー比率の向上

サービスソリューションメニューの充実

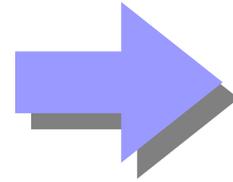
営業体制の変革



エンドユーザーの拡大

30%

38%

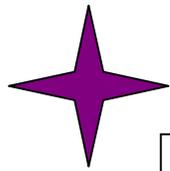


組込24%

組込23%

2007年度

2008年度



サービスソリューションメニューの充実

■ オフィスセキュリティソリューション

■ EAIソリューション

■ 運用監視ソリューション

など

多彩なソリューションのネタ

セキュアダイブ、UIM、セキュリティロッカー

2Xシンククライアント、CMS:キャッシュ管理

ナレッジマーケット、MAR(k)S、

データスパイダ、パトロールクラリス運用監視、

EXCEL管理基盤

ヒトとモノを同時に管理



セキュリティロッカー



入在庫管理



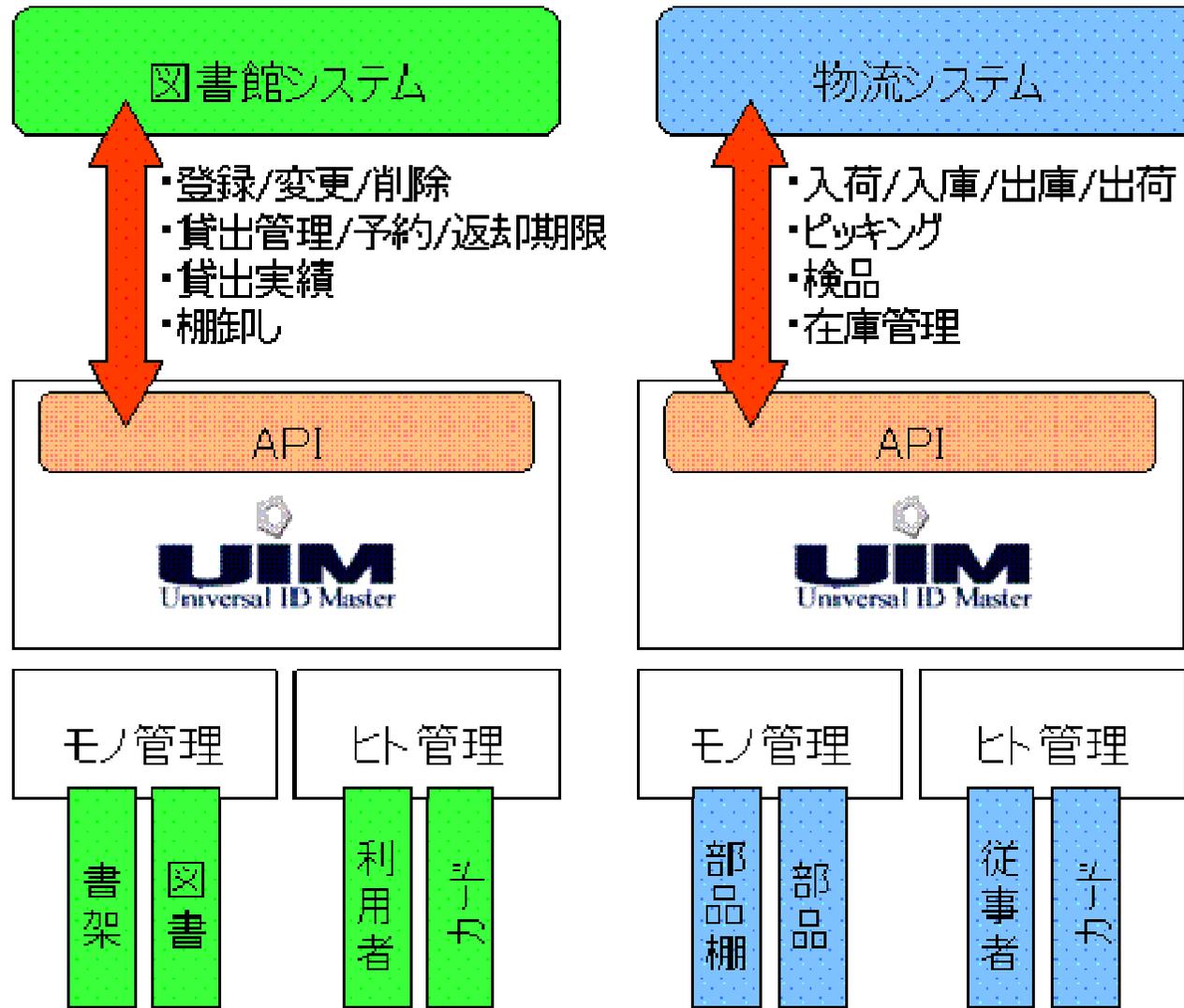
PCログイン認証

UIM = Universal ID Master





UIMの応用例





営業体制の変革

- **案件狩猟型から農耕型営業へ**
- **顧客別販売活動**
- **広義の上流工程の開拓**

変革のキーワード

提案力、企画力、マーケティング力

網羅的、戦略的営業

営業マインドの醸成

ダイナミックな営業戦略を打つ



狩猟型から農耕型営業へ



営業の立ち位置（現状）



営業担当

各事業部ライン

社外コンサルティング

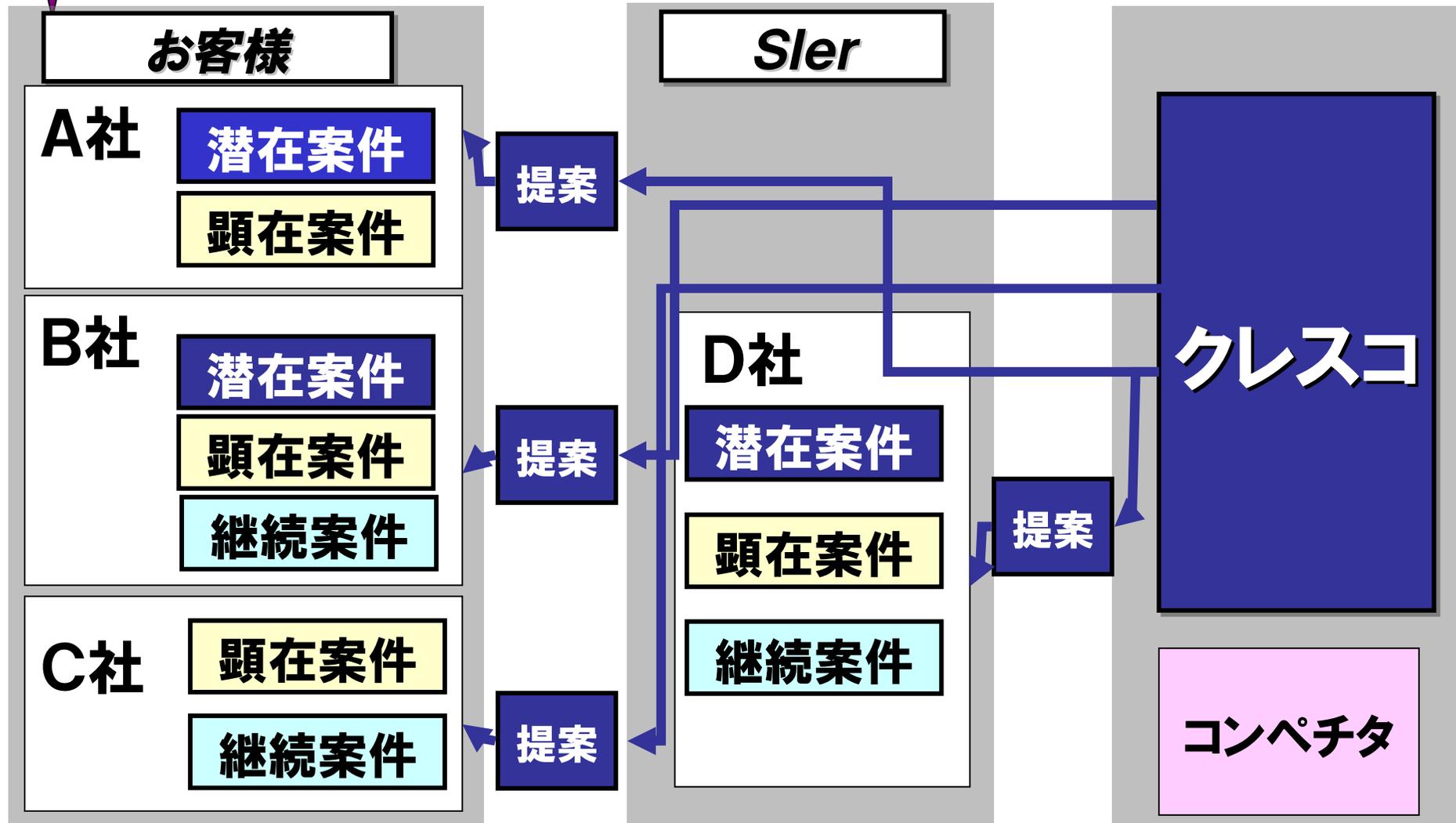
社内コンサルティング

サービスソリューション

サービスソリューション



★ 今後の営業は**農耕型営業**(ニーズをキャッチし、提案し、案件を生み出す)



株式会社 クレスコ



2. 2008年度 決算の概要

決算短信トピックス（連結）

◆連結経営成績に関する事項

- ①ソフトウェア開発事業の売上高は前年同期より4億21百万円増加し、109億50百万円
- ・主力の金融分野においては大手ベンダーを含む銀行および生命保険業関連の受注が激減
 - ・公共サービス分野は、運輸関連等の受注が拡大
 - ・流通・その他の分野では、開発案件の受注が伸び悩み
 - ・子会社におけるERPソリューション関連の受注が大幅に減少
- ②組込型ソフトウェア開発事業の売上高は前年同期より30百万円減少し、29億30百万円
- ・通信システム分野は、携帯電話など通信端末の開発案件が大幅に減少
 - ・カーエレクトロニクス分野は、自動車業界の低迷の影響で、カーオーディオの開発案件が減少
 - ・その他組込型分野はデジタルテレビなどデジタル家電分野が伸長
- ③商品販売の売上高は前年同期より40百万円増加し、1億9百万円
- ・保険代理店の業務支援システムMAR(k)Sが23百万円、セキュリティロッカーなどRFID関連製品で28百万円、Bluetooth製品等の販売で57百万円

◆連結財政状態に関する事項

総資産 9,988百万円
自己資本比率 73.5%



財務諸表

損益計算書 および 貸借対照表 等



連結損益計算書（要約）

（単位：百万円切捨て）

	2008.3	2009.3	前期比%
売上高	13,557	13,989	103.2%
売上原価	11,508 (84.9%)	11,749 (84.0%)	102.1%
売上総利益	2,048 (15.1%)	2,240 (16.0%)	109.4%
販売費及び一般管理費	1,368 (10.1%)	1,580 (11.3%)	115.5%
営業利益	679 (5.0%)	659 (4.7%)	97.1%
経常利益	870 (6.4%)	778 (5.6%)	89.4%
税金等調整前当期純利益	1,588 (11.7%)	214 (1.5%)	13.5 %
当期純利益	891 (6.6%)	53 (0.4%)	5.9 %
一株当り当期純利益（円）	141.25	8.57	6.1 %

（ ）内は構成比

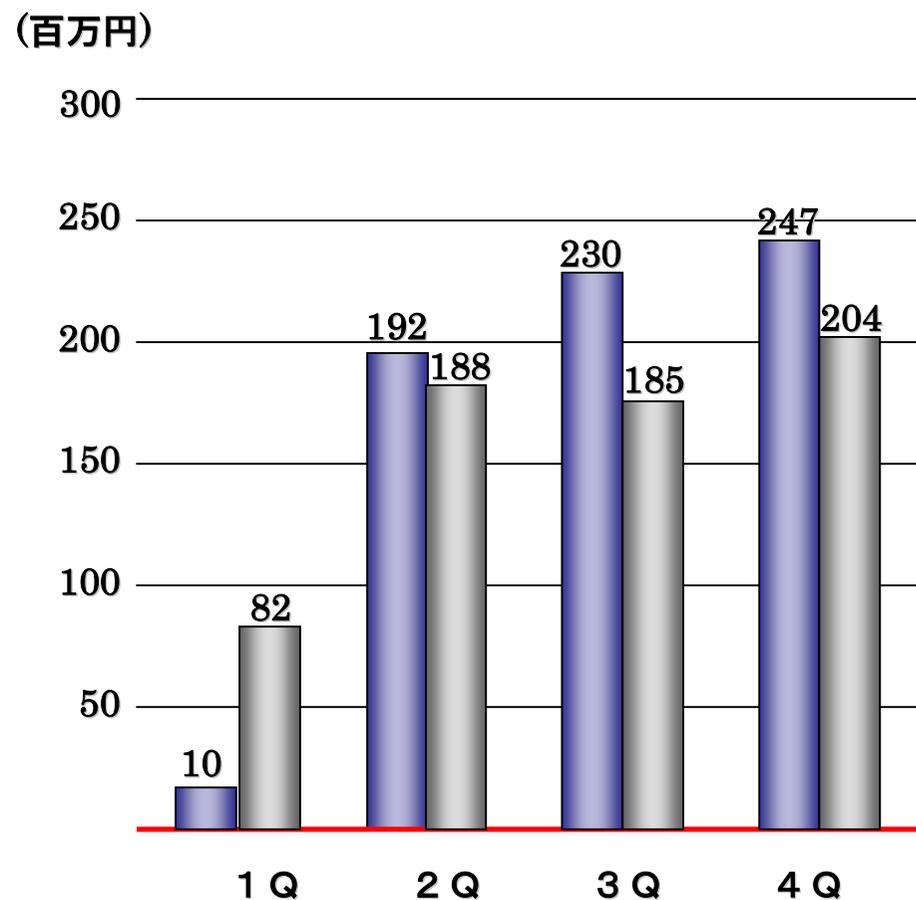
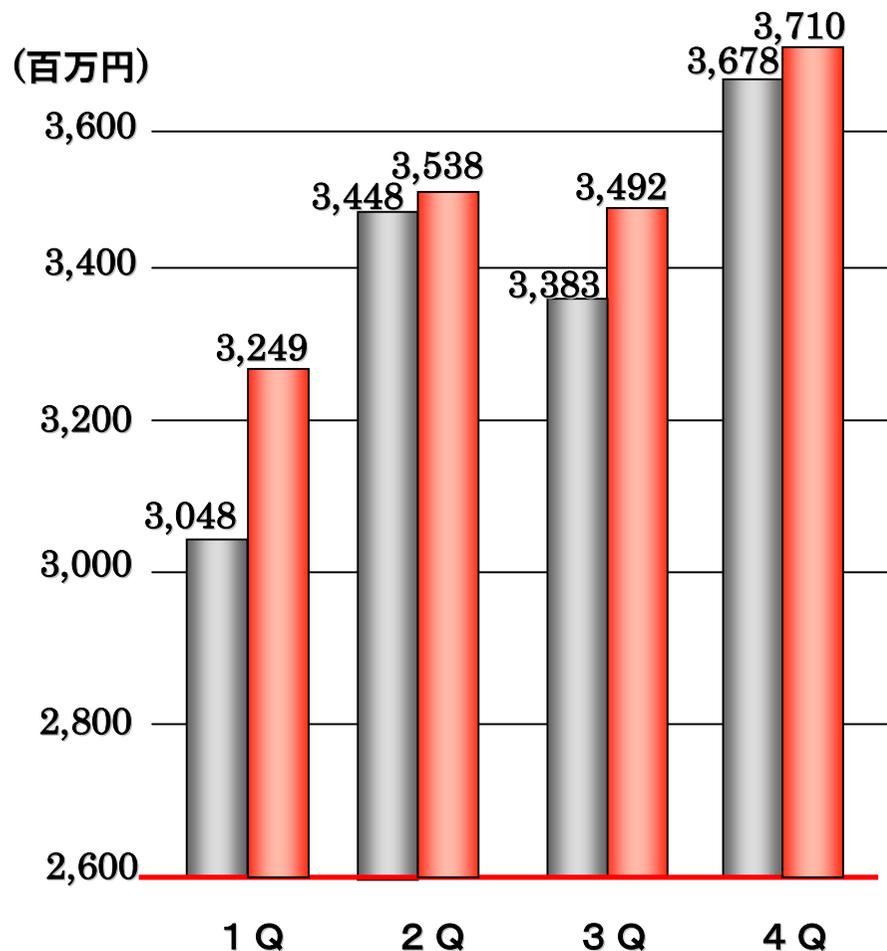
株式会社 クレスコ

四半期毎の連結業績推移



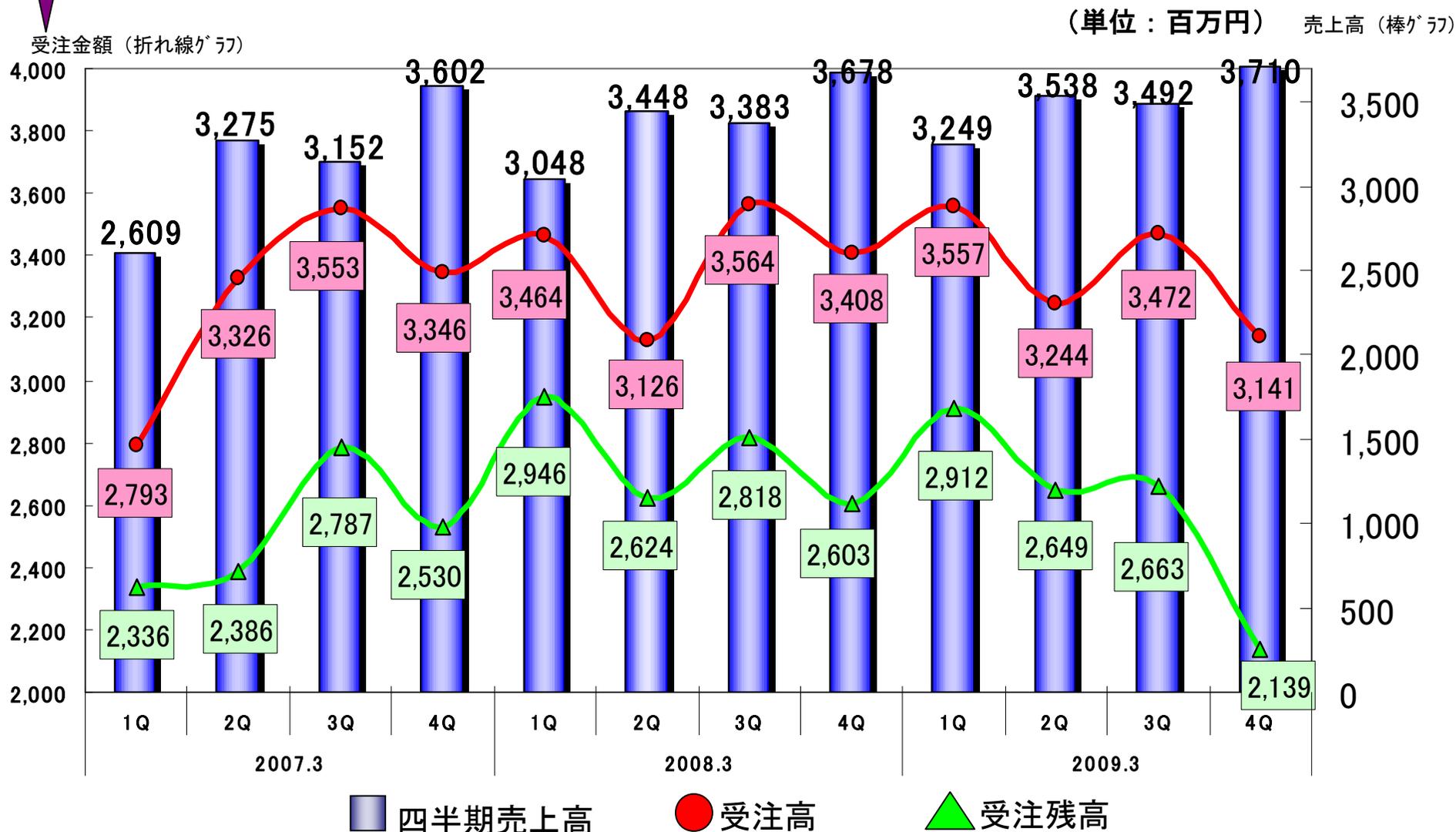
2008.3
 2009.3 **売上高**

2008.3
 2009.3 **営業利益**



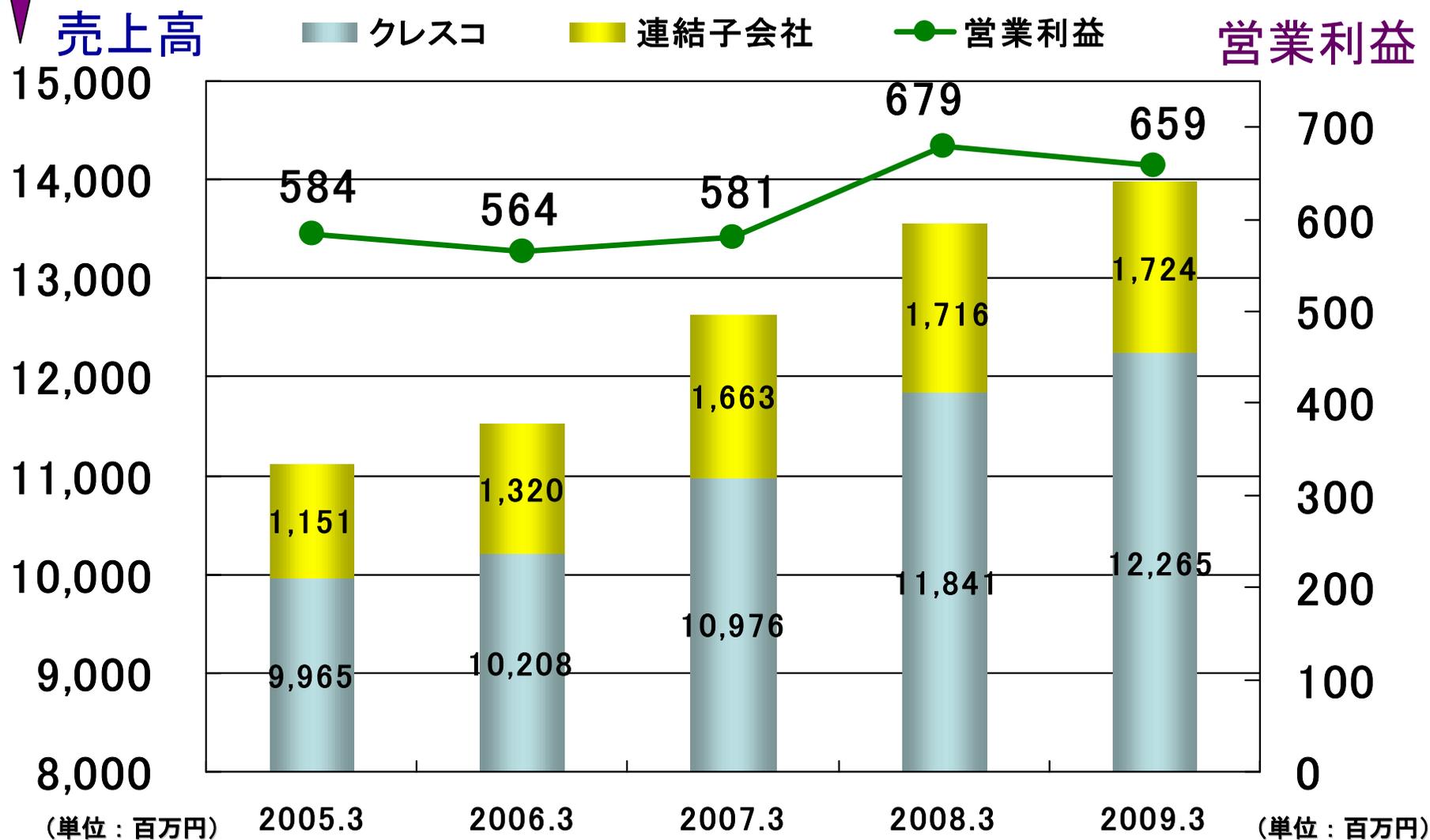
株式会社 クレスコ

売上高、受注高、受注残高の推移（連結）



株式会社 クレスコ

5ヶ年の推移



株式会社 クレスコ

セグメント別売上高の比較（連結）

（単位：百万円）

セグメント		2008.3	2009.3	増減	増減率
大区分	小区分				
ソフトウェア	金融関連	4,991	4,441	▲549	▲11.0%
	公共サービス	2,754	3,742	987	+35.9%
	流通・その他	2,782	2,766	▲16	▲0.6%
	計	10,528	10,950	421	+4.0%
組込型 ソフトウェア	カーエレクトロニクス	1,268	1,261	▲7	▲0.6%
	通信システム	1,080	789	▲291	▲26.9%
	その他	611	879	268	+43.9%
	計	2,960	2,930	▲30	▲1.0%
その他の事業		68	109	41	+59.4%
全計		13,557	13,989	432	3.2%

株式会社 クレスコ



5月1日 通期業績予想再修正について

(単位：百万円)

	連結			個別		
	1/30 予測	5/1 予測	増減率	1/30 予測	5/1 予測	増減率
売上高	14,000	13,989	▲0.1%	12,300	12,265	▲0.3%
売上総利益	2,230	2,240	+0.4%	1,850	1,878	+1.5%
営業利益	620	659	+6.3%	610	645	+5.7%
経常利益	740	778	+5.1%	750	783	+4.4%
当期純利益	90	53	▲41.1%	130	80	▲38.5%



経営成績—通期（連結）

（単位：百万円）

	2008.3 (実績)	2009.3 (実績)	増減	前年 同期比
売上高	13,557	13,989	432	103.2%
売上総利益	2,048 (15.1)	2,240 (16.0)	192	109.4%
営業利益	679 (5.0)	659 (4.7)	▲20	97.1%
経常利益	870 (6.4)	778 (5.6)	▲92	89.5%
当期純利益	891 (6.6)	53 (0.4)	▲838	5.9%

注) カッコ内の数字は各々の利益率 (%) を表します。

経営成績—通期（個別）

（単位：百万円）

	2008.3 （実績）		2009.3 （実績）		増減	前年 同期比
売上高	11,840		12,265		425	103.6%
売上総利益	1,604	(13.5)	1,878	(15.3)	274	117.1%
営業利益	539	(4.6)	645	(5.3)	106	119.7%
経常利益	748	(6.3)	783	(6.4)	35	104.7%
当期純利益	663	(5.6)	80	(0.7)	583	12.1%

注）カッコ内の数字は各々の利益率（％）を表します。

経営成績－ 通期（子会社）

(単位:百万円)

	クレスコ・イー・ソリューション		ワイヤレステクノロジー		クレスコ・コミュニケーションズ		クレスコ・アイディー・システムズ	
	2008.3	2009.3	2008.3	2009.3	2008.3	2009.3	2008.3	2009.3
売上高	1,484	1,454	150	186	163	93	0	29
売上総利益	406	271	34	46	37	50	▲1	▲3
営業利益	168	64	6	16	2	8	▲4	▲64
経常利益	167	64	7	16	2	8	▲4	▲66
当期純利益	92	35	4	10	2	8	▲26	▲66
持分比率	97.5%		87.5%		86.0%		92.0%	

参考： ワイヤレステクノロジー 2005. 10設立
 クレスコ・コミュニケーションズ 2006. 4設立
 クレスコ・アイディー・システムズ 2008. 3設立

株式会社 **クレスコ**

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

		2008.3	2009.3	前期比%
流動資産		6,679	4,815	72.0
有形固定資産		237	197	83.1
無形固定資産		421	349	82.8
投資その他の資産		4,366	4,625	105.9
資産合計		11,703	9,988	85.3
流動負債		2,679	1,727	64.4
固定負債		807	889	110.1
負債合計		3,486	2,617	75.0
資本金		2,515	2,515	-
資本剰余金		2,999	2,999	-
利益剰余金		4,086	3,026	74.0
自己株式		▲1,282	▲661	-
株主資本合計		8,317	7,879	94.7
評価・換算差額等合計		▲126	▲536	-
少数株主持分		26	28	107.6
純資産合計		8,218	7,370	89.6
負債純資産合計		11,703	9,988	85.3

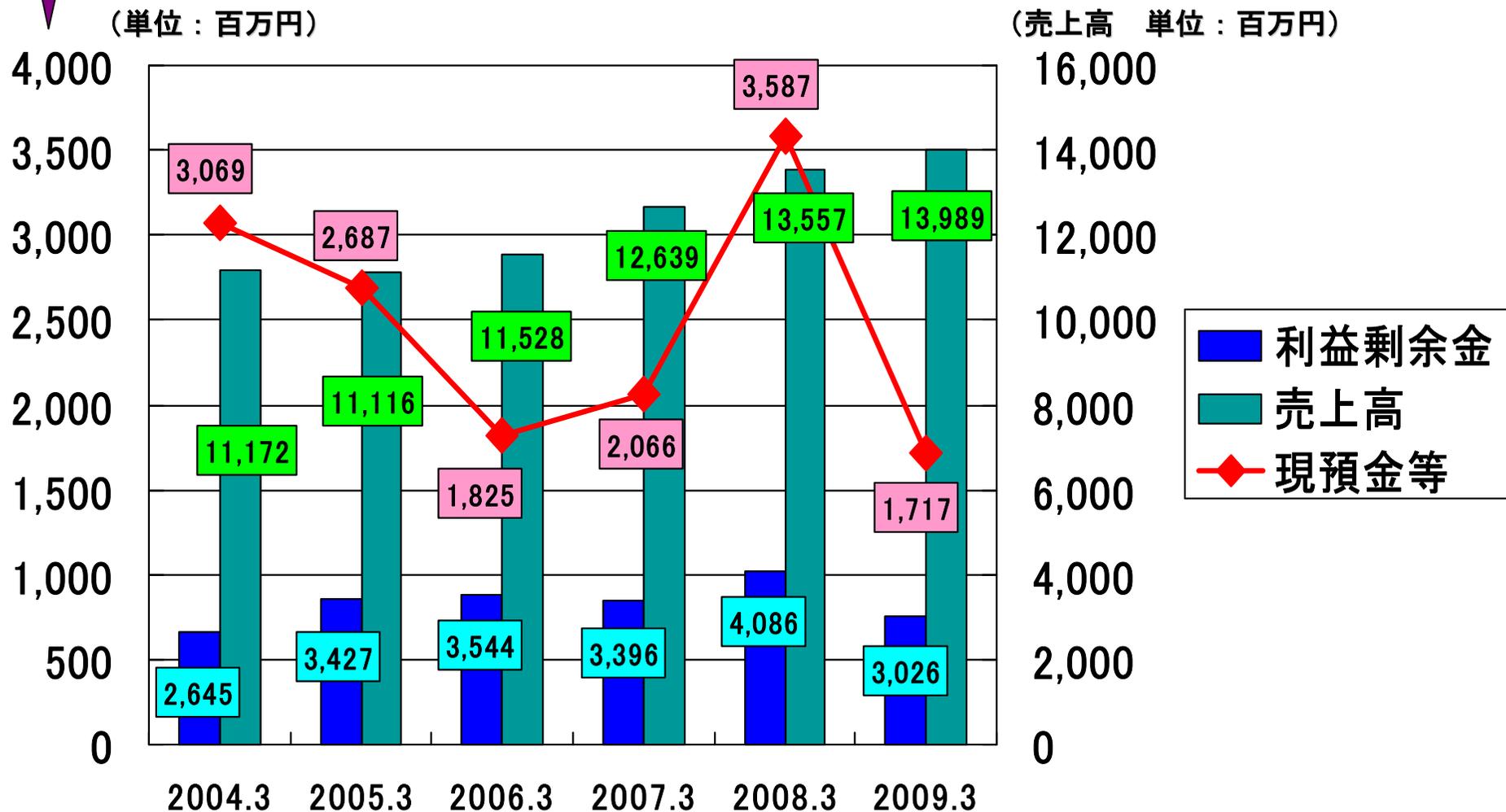


キャッシュフローおよび経営指標（連結）

（単位：百万円 率：％）

	2004.3	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3	2009.3
営業活動	1,361	▲368	302	444	1,322	▲61
投資活動	409	291	▲946	308	902	▲1,280
財務活動	▲269	▲297	▲217	▲511	▲703	▲529
キャッシュ・フロー増減	1,501	▲374	▲861	241	1,521	▲1,870
フリー・キャッシュ・フロー	1,770	▲77	▲644	752	2,224	▲1,341
総資産当期純利益率（ROA）	6.4	6.2	2.3	0.5	7.7	0.5
総資産経常利益率	4.3	5.2	5.9	7.9	7.5	7.2
自己資本当期純利益率（ROE）	9.4	9.1	3.2	0.6	10.9	0.7
売上高経常利益率	5.4	7.3	7.5	8.0	6.4	5.6
流動比率	264.2	290.1	287.6	262.0	249.3	278.8
自己資本比率	67.1	69.7	71.9	72.1	70.0	73.5

★ その他指標 (連結)





3. 2009年度の 基本方針等

中期経営計画最終年度へ



「らしさ」

End
User
Focus

新規事業

基本方針

- ◆「らしさ」の追求
クレスコにしかできないことを追求（3原色戦略）
- ◆エンドユーザーフォーカス
お客様志向、マーケット志向（提案型ビジネス）
- ◆新規事業の確立
トータルソリューション（コンサルティング、ソリューション）

2009年度の重点施策



請負型から提案型ビジネスへ

トータルソリューション力の向上

新ソリューションの展開

内部統制の徹底

コスト削減の徹底

新生クレスコへの転換

フォーカスポイント

- 既存の開発事業におけるビジネスの維持と収益基盤の確保
- **強み3事業の融合**による総合提案活動
- **提案型ソリューション事業**の推進
- 顧客に対する徹底した営業アプローチ
- グループシナジーを活かした協業体制

拡大路線は困難



22期

事業の拡大

新ソリューションの展開

拡販

収益基盤の確保

収益基盤の拡大

2007

2008

2009

株式会社クレスコ

まずは利益獲得に向けへ基本に立ち返る

●**営業機能の強化**



受注量の確保

●**シナジーの強化**



受注量の確保

●**赤字プロジェクトの発生ゼロ**



利益の確保

●**稼働率キープ**



利益の確保

●**コスト削減施策**



利益の確保

クレスコのコア技術を更なる強みに



クレスコのコア技術



クレスコは今まで「匠」として、

1. 業務システム開発技術、2. IT基盤技術、3. 組込技術

の3つの領域に渡るコア技術をビジネスの主軸としながら、さまざまな仕組みづくりを手がけてきました。

特にITの根っこの部分を支えているIT基盤技術や組込技術においては、創業以前の時代とクレスコの創業年である1988年以降とを合わせると40年近い歴史があり、他社には簡単に追いつけないだけの技術の蓄積があります。

高品質の確保に対する思い。そして現場尊重主義。
「匠」の精神で、お客様の信頼に応え続けていきます。

技術の提供

業務システム開発技術

企業のニーズに合わせて最適な業務システムを開発する技術です。たとえば銀行のATM機能、コールセンターシステムなど、それぞれのお客様のニーズを把握し、ソリューションを形にするのが、アプリケーションエンジニアリングの技術です。各業界大手企業を中心に幅広い実績があります。

IT基盤技術

企業のITシステムを最大限に活用し、安定稼働させるためのインフラ環境を、構築・運用・保守するための技術です。大手銀行や生保、損保、流通、通信、運輸など、業界・業種に縛られない幅広いお客様に対してさまざまなソリューションを提供しています。

組込技術

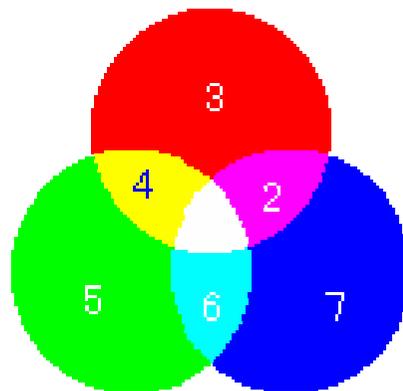
家電製品などに組み込まれ、特定の機能を実現するためのソフトウェアを開発する技術です。たとえば携帯電話の多くの機能をスムーズに処理するためのソフトウェアを開発するのが「組込技術」です。その他にもカーエレクトロニクス、デジタル情報家電製品などの分野で力を発揮しています。

株式会社クレスコ

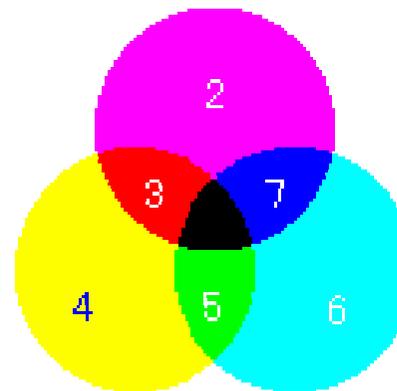


主要3事業の技術を融合

強みを活かし、あらゆる
ソリューションを創造

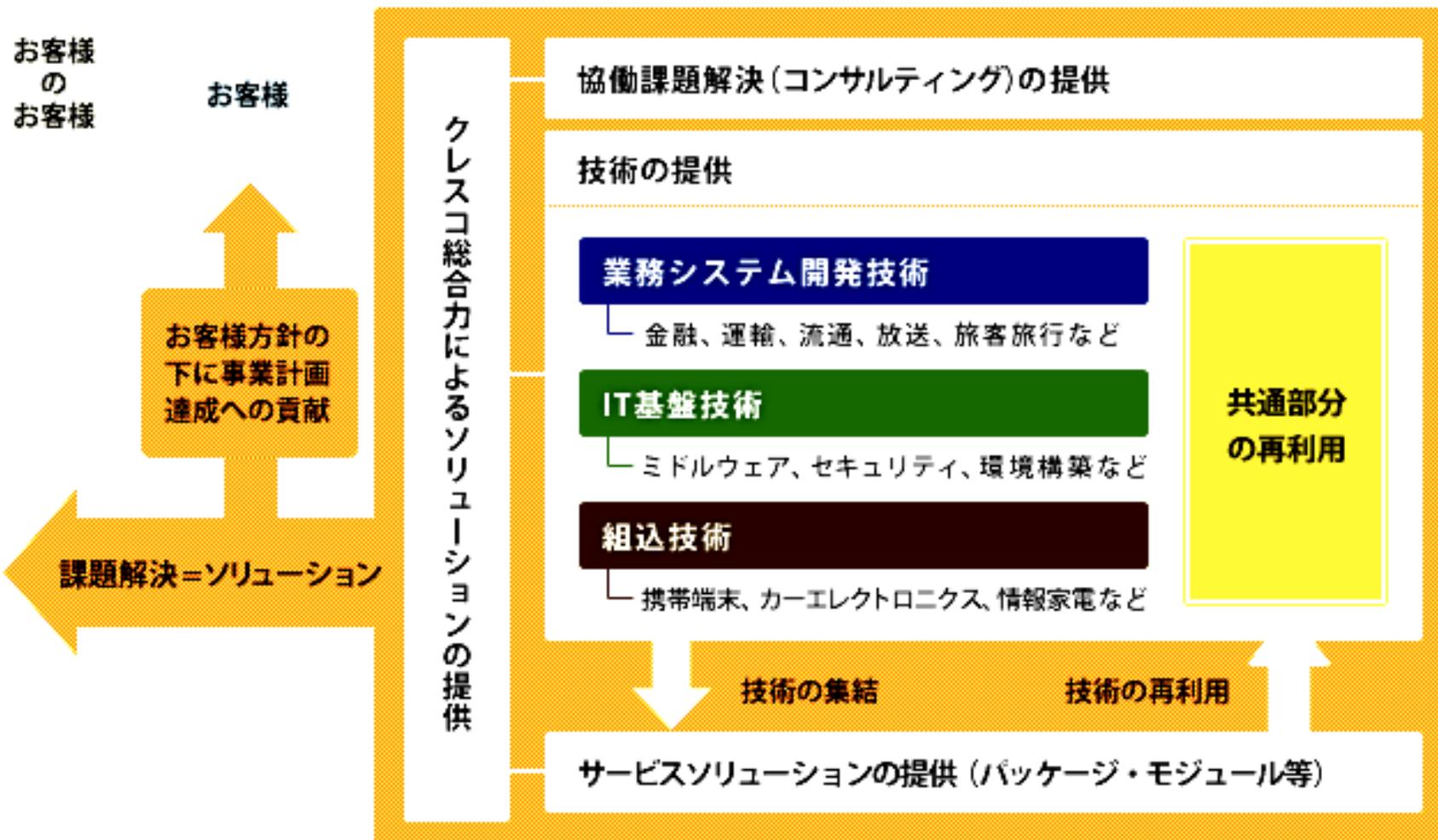


光の3原色 (RGB)



色の3原色 (CMY)

クレスコが提供する独自のソリューション

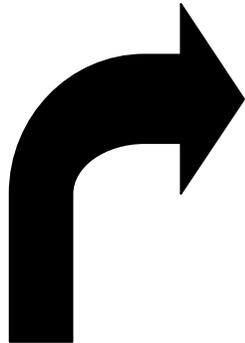


プロジェクトを支援する仕組みで優位性を確保



実行組織 (事業部中心)	ビジネスソリューション事業部	○	○	○	○
	基盤ソリューション事業部	○	○	○	○
	組込ソリューション事業部	○	○	○	○
	サービスソリューション事業部	○	○	○	○
	コンサルティング事業部	○	○	○	○
推進組織 (ソリューション本部中心)	事業方針・事業計画 : 事業部長会議 (GM会議、General Manager conference)				
	品質・プロセス : 見積りレビュー、提案書レビュー、品質向上会議 (SQA会議、System Quality Assurance conference)				
	注目プロジェクト : 注目プロジェクト会議 (P3会議、Problem Project emPowerment conference)				
	ビジネス戦略 : ビジネス戦略会議 (S3会議、Strategic Scenario Storming conference)				

プロジェクトの品質活動を通して顧客満足向上



お客様

<費用>		V S	<効果>	
初期投資	〇〇円	}	増収効果	〇〇円/年
運営経費	〇〇円/年		費用削減	〇〇円/年
			定性効果	~~~~~

これを達成して、初めてプロジェクトは成功と言える

クレスコ

- Q:要件・仕様を満たしている
- C:計画コストに納まっている
- D:遅れはない

QCDを計画通りに達成する



2010.3月期の通期見通し

(単位：百万円)

	2010.3 (連結)		前年 同期比	2010.3 (個別)		前年 同期比
売上高	13,500		-3.5%	11,800		-3.8%
売上総利益	2,190	(16.2)	-2.2%	1,700	(14.4)	-9.5%
営業利益	586	(4.3)	-11.2%	520	(4.4)	-19.4%
経常利益	690	(5.1)	-11.4%	640	(5.4)	-18.3%
当期純利益	316	(2.3)	+494.3%	321	(2.7)	+297.7%

注) カッコ内の数字は各々の利益率 (%) を表します。

セグメント別売上高の比較（連結）

（単位：百万円）

セグメント	2009.3	2010.3	増減	増減率
ソフトウェア	10,950	10,600	▲350	▲3.2%
組込型ソフトウェア	2,930	2,737	▲193	▲6.6%
その他の事業	109	163	54	49.5%
全計	13,989	13,500	▲489	▲3.5%

その他事業・・・商品・製品販売

セグメント別売上高の比較（個別）

（単位：百万円）

セグメント	2009.3	2010.3	増減	増減率
ソフトウェア	9,441	9,224	▲217	▲2.3%
組込型ソフトウェア	2,800	2,576	▲224	▲8.0%
その他の事業	24	0	▲24	—
全計	12,265	11,800	▲465	▲3.8%

その他事業・・・商品・製品販売



(注)

掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等によって生じた障害等に関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

なお、本資料における将来予測に関する情報および業績見通し等の予測数値は、現時点で入手可能かつ合理的な情報による判断および仮定に基づき記述しております。

今後、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予告なしで情報を変更したり、実際の業績や結果と大きく乖離するなど、本資料の内容とが異なる可能性もございます。

予めご了承ください。

証券コード: 4674
<http://www.cresco.co.jp>

株式会社 クレスコ